

# 外国語活動学習指導案

学校名 府中市立国府小学校  
授業者 T1 パワーアップリーダー 中國達彬  
T2 ALT Joy Kathleen Tero

- 1 日時 平成30年10月31日(水)
- 2 学年 第6学年2組 32名
- 3 単元名 Unit1「This is Me!」(We Can!2)
- 4 単元について

○ 本単元は、6年生新教材『We Can!2』の最初に位置づいている単元であり、「自己紹介」を題材にしたものである。「自己紹介」という題材は、「I like ~.」、「I can ~.」といった既習表現の活用が期待できるものであり、これまでの学習を総括する意味でも適していると言える。また、本単元では新出表現として“I’m from ~.」、「I’m good at ~.」を導入するが、これも自己紹介をより充実させる上で効果的な表現である。なお、次の表に示している通り、自分に関する情報を伝える活動は、小学校外国語活動のスタートから中学校3年生の外国語科まで繰り返し行われるものであることから、本単元の学習は言語材料面だけでなく題材面においても今後の学習の基礎として位置づけることが期待できる。

学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	中学1年	中学2年	中学3年
学習内容	Hello! あいさつをして友だちになろう	Hello, world! 世界のいろいろな言葉であいさつをしよう	Hello, everyone. アルファベット・自己紹介	This is ME! 自己紹介	Presentation 1.自己紹介 2.一日の生活 3.思い出の行事	Presentation 1.将来の夢 2.町紹介 3.好きなこと・もの	Presentation 1.日本文化紹介 2.修学旅行 3.中学校生活

○ 本学級の児童に対して9月に事前アンケートを行ったところ、32名中全員が「外国語活動の授業に進んで参加している」と回答した。また、「もっと英語を学びたいと思います」の項目についても全員が「あてはまる」と回答しており、外国語の学習に対する関心は高いことがうかがえる。一方で、「英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちを伝えている」の項目で8名が「あまりあてはまらない」と回答していることから、学習に対する関心や意欲はあるものの、一部の児童は学んだ表現を使って十分に自己表現できていないと感じていることが分かる。また、「英語を読む時には、単語や表現の意味を考えながら読んでいる」の項目において、「ややあてはまる」が16名、「あまりあてはまらない」が2名と、決して否定的ではないものの強く肯定できる児童が少ないことも分かる。

○ 本単元では、コミュニケーションの目的を「国府演 JOY 祭で来場者と英語で交流すること」とし、児童が目的意識をもって学習に取り組むことができるようにする。さらに本単元では、既習表現である好きな動物やスポーツ、教科、また誕生日に加え、新出の文である“I’m from ~.」や“I’m good at ~.」などを使って様々な相手と自己紹介し合う場を設定し、その中で適宜肯定的評価を加えていくことで、児童がより自信をもって自分の考えや気持ちを他者に伝えることができるようにする。特に、教師のモデル会話や教室環境の中に積極的に既習表現を取り入れることで、児童が相手や会話の流れに応じて既習表現を選択・活用できるようにする。また、本単元では書く活動にも取り組むが、ここでは「ALT への手紙」という形式をとることにより、児童が相手意識をもって書く活動に取り組み、書くことを通したコミュニケーションの楽しさや喜びを感じることができるようになる。

## 5 単元目標

- 他者に配慮しながら、学んだ表現を使って自分のことについて伝え合おうとする。  
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 学んだ表現を使った自己紹介の仕方に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- 指導者の会話や身振りを手がかりにして“I’m from ～.”、“I’m good at ～.”の意味に気付く。  
【言語や文化に関する気付き】

## 6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
・他者に配慮しながら、学んだ表現を使って自分のことについて伝え合おうとしている。	・学んだ表現を使った自己紹介の仕方に慣れ親しんでいる。	・指導者の会話や身振りを手がかりにして、“ <u>I’m from ～.</u> ”、“ <u>I’m good at ～.</u> ”の意味に気付いている。

## 7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	国府演 JOY 祭の「英語ブース」の中で、来場した人たちと英語を使って交流することができるようにするために、自己紹介に関する表現を学ぶ。
目指す発話例	<p>A: Hello. My name is Taira Kazu. <u>I’m from Hirakimachi.</u> <u>I’m good at playing basketball.</u> How about you?</p> <p>B: My name is Kokufu Hanako. <u>I’m from Takagichou.</u> <u>I’m good at playing the guitar.</u></p> <p>A: Oh, It’s nice. Do you like music? B: Yes, I do. Do you like music? A: Yes, I do. I like music very much. B: Wow! Can you play the guitar? A: No, I can’t. But I can sing well. B: Really? Let’s sing together! A: Good!</p>

## 8 言語材料（下線部は新出表現）

主な表現	主な語彙
What’s your name? My name is ～. My birthday is (August 19th). I like (music). I can (play the piano well). <u>I’m from (Nishinomachi).</u> <u>I’m good at (playing the piano).</u>	・挨拶 ・月 ・序数 ・動物 ・食べ物 ・スポーツ ・動名詞 (playing, doing, cooking, swimming 等)

## 9 単元計画

時	目標 (◆)、主なやり取り等 誌面化されている活動 (・)	評価規準・評価方法
1	<p>◎単元終末の活動を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           国府演 JOY 祭に向けて自己紹介をレベルアップさせよう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's Chant "I can run. I can swim."</li> <li>・ Let's Listen 3 (出身地に着目して見る)</li> <li>◆ "I'm from ~." を使った自己紹介に慣れる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hello.            My name is (Taira Kazu).  <u>I'm from (Hirakimachi)</u>            How about you?</p> <p>B: Hello.            My name is (Kokufu Hanako).  <u>I'm from (Takagichou)</u></p> <p>(以下、既習表現を使ったやり取りを続ける)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「I'm from ~.」の意味に気付くとともに、「I'm from ~.」を使った表現に慣れ親しんでいる。</li> </ul>
2 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's Chant "I can run. I can swim."</li> <li>・ Let's Listen 3 (得意なことに着目して見る)</li> <li>◆ "I'm good at ~." を使った自己紹介に慣れる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hello.            My name is (Taira Kazu).            I'm from (Hirakimachi).  <u>I'm good at (playing basketball).</u>            How about you?</p> <p>B: Hello.            My name is (Kokufu Hanako).  <u>I'm from (Takagichou)</u>  <u>I'm good at (playing the guitar).</u></p> <p>(以下、既習表現を使ったやり取りを続ける)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「I'm good at ~.」の意味に気付くとともに、「I'm good at ~.」を使った表現に慣れ親しんでいる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's Chant "I can run. I can swim."</li> <li>・ Let's Listen 3 (出身地・得意なこと以外のことに着目して見る)</li> <li>◆相手に配慮しながら、既習表現を使って自己紹介をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>A: Hello.            My name is (Taira Kazu).            I'm from (Hirakimachi).  <u>I'm good at (playing basketball).</u>            How about you?</p> <p>B: Hello.            My name is (Kokufu Hanako).  <u>I'm from (Takagichou)</u>  <u>I'm good at (playing the guitar).</u></p> <p>(以下、相手に配慮しながら既習表現を使ったやり取りを続ける)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手に配慮しながら、既習表現を使って自己紹介しようとしている。</li> </ul>

10 本時の計画

(1) 目標

“I’m good at ~.” の意味に気付くとともに、“I’m good at ~.” を使った表現に慣れ親しむ。

(2) 評価規準

“I’m good at ~.” の意味に気付くとともに、“I’m good at ~.” を使って自己紹介している。

(3) 準備物

ワークシート、ワードリスト、デジタル教科書

(4) 本時の展開

学習活動	○発問・指示 ●指導者の役割		●指導上の留意点 ☆評価規準【評価方法】 ※資質・能力の顕在化
	T1	T2 (ALT)	
1 挨拶 (1分)	○Greeting	●Greeting	
2 復習 (2分)	○Let’s review. 「アルファベットの書き順」		
3 Small Talk (5分)	○ Let’s play “Jikoshokai Game”.	●Talk with T1	●既習表現を意識させてから開始する。
4 本時の課題を把握する。(2分)	○課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">自己紹介をレベルアップさせよう。</div>		●単元ゴールと関連させて本時の課題を設定する。
5 “I’m good at ~.” の意味に気付く。(7分)	○これから Joy(ALT)が新しい表現を使って自己紹介をします。  ○どんな言葉が新しく聞こえましたか。 ・I’m good at ~. ○ “I’m good at ~.” とはどのような意味だと思いますか?  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">T2: I can play the guitar. T1: I can play the guitar, too. T2: [play the guitar] demonstration T1: [play the guitar] demonstration T2: Wow! T1: I’m good at playing the guitar.</div>  ・ “I’m good at ~.” は、「～が得意だ」という意味です。	●Do self-introduction  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">T2: Hello. My name is Joy. I’m from Manila. <u>I’m good at cooking.</u> How about you?</div>	●指導者どうしのやり取りやジェスチャーを手がかりにして “I’m good at ~.” の意味に気付かせる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">“can (～できる)” と混同する児童がいた場合、「～できるが得意ではないモデル」と「～できるし、得意であるモデル」を指導者が演じ、両者の違いを比較させることで “I’m good at ~.” の意味に気付かせる。</div>  ● “I’m good at ~.” を使って自己紹介できれば課題が達成できたことを確認する。

	○「得意なこと」に着目して7ページの Let's listen3 を聞きましょう。		
6 “I'm good at ~.”を使った表現に慣れ親しむ。(15分)	○ Let's play “Who am I? Quiz”.  Hint1... I'm good at ( ). Hint2... I'm from ( ). Hint3... My initial is ( ). Who am I?  ○ Let's play “Interview Game”.  No.1... Walk around and make pairs. No.2... Do Janken. No.3... The winner, please speak first. No.4... Change the role.	●Give the quiz	● “I'm good at ~.”を使った表現を何度か練習した後、クイズに入る。教師が数問出題した後、児童からも出題できそうならば、出題させる。
7 Small Talk (8分)	○Let's play “Jikoshokai Game” again.  T1: A: Hello. My name is Nakakuni Tatsuaki. I'm from Okayama. <u>I'm good at playing the guitar.</u> How about you? T2: My name is Joy. I'm from Manila in Philippine. <u>I'm good at cooking.</u> T1: Wow! It's nice. What food do you like? T2: I like hamburgers. T1: Me, too! (この後も既習表現を使ってやり取りを続ける)  ●Any volunteers?  ●Coment to ss	●Talk with T1	● “I'm good at ~.”を使って自己紹介し合うように伝える。 ●ペアを変えて会話をくり返す。 ●途中で一度活動を止め、“I'm good at ~.”を使っているかや反応できているか等を確認する。  ●児童どうしによる Small Talk を行う。
8 自分の得意なことを ALT に伝えるために文を書く。(5分)	○Let's try to write. ○ワードリストを見ながら “I'm good at ~.”の続きを書き、自分が得意なことを ALT にも伝えましょう。	●Answer questions	●ワークシートとワードリストを配布し、自分の得意なことについてリストを見ながら “I'm good at”の続きに書かせる。
9 本時のふりかえりをする。(5分)	●Please write the reflection.  ・「～が得意だ」を使って自分のことを伝えることができました。 ・ジェスチャーをつけることで相手に伝わりました。 ・使える表現を増やすことで、国府演 JOY 祭に向けて自己紹介をさらにレベルアップさせたいです。	●Reflection	☆評価【ワークシート】 ・“I'm good at~.”の意味に気付き、“I'm good at~.”を使って会話している。

## 1 1 板書計画

自己紹介

自己紹介をレベルアップさせよう。

どうすればレベルアップできるか？

- アイコンタクト
- 自分から話す
- 知っている言葉をつなぐ
- 関連あることからつなぐ

My name is ~.

I'm from ~.

I'm good at ~.

How about you?